

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2072200518		
法人名	社会福祉法人ちいさがた福祉会		
事業所名	グループホームフォーレスト		
所在地	長野県東御市常田18番地1 (電話) 0268-64-7660		
評価機関名	特定非営利活動法人長野県高齢者福祉協会		
所在地	長野市南長野南県町1001番地3口ワール丸ビル4階		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年3月16日

【情報提供票より】(21年1月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	・平成 14年 3月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤7人, 非常勤2人, 常勤換算9人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	0 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(1月7日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	4名	要介護2	3名
要介護3	2名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 86.3歳	最低 71歳	最高 97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東御記念セントラルクリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

保健・医療・福祉の各施設が緑豊かな東御中央公園に隣接する一角に集まり地域住民が安心して暮らせる理想の地域福祉社会を「福祉の森」として実現した中にグループホームフォーレストがある。浅間山を望む田畑や自然に囲まれた土地を活かし、家庭的な環境と地域住民との交流の下での小規模ケアへの取り組みは、地域での福祉事業への先駆けとして実践してきた「ちいさがた福祉会」が母体となり、組織的にバックアップを果たしている。認知症ケアに対する強い信念と志を持った職員が馴染みの環境と人間関係の構築に日々の努力が伺える。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部調査は今回が初めての実施となります。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) サービス評価を実施するにあたり、評価意義とねらいについて管理者・職員で話し合い全員で自己評価に取り組んでいるが、自己評価の際に項目を分担制にすることなく評価項目全体を把握することが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 組織内の体制を整備して新たに平成20年度より運営推進会議を実施している。基準省令で定めるメンバー構成を整えて取り組みを図っているが、事業活動状況や利用者の状況、外部評価結果と改善の取り組み等を報告し、これについて助言、事業所と地域との交流促進のための話し合いを行う観点から二ヶ月に一回以上、定期的に行うことが望まれます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ご家族には「おたより」、訪問時等において常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。また、運営に関する家族の意見を反映することも検討しており、家族会的な場を設定して意見が出やすい環境づくりも模索している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の文化祭やお祭りには、利用者とともに積極的に参加している。また、併設施設での夏祭り時には、地域住民及び関係者を招く等して交流を図っている。管理者側は、事業所と地域の人々が支えあうような双方関係の取り組み方について積極的な姿勢で捉えている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域生活の現状にあったニーズ・変化に対応してつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議では、つくりあげた理念を掘り下げて職員全員で話し合い、ケアの方針について意志統一を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事（文化祭・お祭りなど）には積極的に参加している。また、併設施設との共同で行う夏祭りには、地元自治会を招待するなどの交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を理解して自己評価に取り組むようにしているが、分担して自己評価を行うことにより評価の全体像を捉えることが困難になるので留意する必要がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、事業所からの報告とともに、参加メンバーからの質問、意見を受け双方向的会議になるよう取り組んでいる。</p>		<p>20年度より運営推進会議を開催しているが、2ヶ月に1回以上、定期的を開催することが望まれる。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも市との連携を図る情報交換会を実施するなどの交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には「おたより」等を発行して施設内の様子や情報を提供している。話し易い雰囲気をつくりながら、ケース記録、金銭管理書類にも目を通していただいている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見や苦情等は事業所にとって大切な宝と捉えてサービスに反映させるよう、職員会議で具体的な取り組みを振り返るようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人組織内の体制を整備する際に利用者への影響が見られた。新体制の下、馴染みの職員が継続的に支える体制となるよう細心の注意をはらいながら対応している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修会においては、パート職員もチームの一員として均等な研修機会を設けている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会に属して事業者同士が協働しながら学習会や交流を持つことにより、質の向上を目指している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が事業所を見学してもらうことから始め「おやつ時間」に利用してもらうなど段階を追って進めて行くようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、支援される側の意識を持つことなく、職員・利用者がともに支えあう関係を構築しながら生活できるように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関りの中で本人の言葉や表情などの観察を重視して、入浴や外出時など個別に接する機会を大切にしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活支援記録を基に課題を分析し、本人及び家族からの意向を尊重してスタッフ会議において検討し介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>作成された介護計画に対してミーティングやモニタリングなどを検討する会議が位置づけられている。定期的な見直しがなされており、状態の変化があった方の対応についても随時検討されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者及び家族の求めることを出来るだけ職員が目線を合わせて対応して、ともに行動できるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の継続的な受診など、本人や家族の希望する医療機関を基本として付き添い等の支援をしている。月2回程度の定期的な診察は法人内の医師によるもので、緊急時の対応も整備されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化となった際の対応や急変時の対応は契約時に本人、家族に話をして同意を得ている。事業所が対応し得る最大のケアに理解を深めて取り組んでいる。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに関してスタッフ会議等で話し合い、確認している。個人情報の取扱いに関しては全職員が理解するとともに、退職後においても漏洩なきよう誓約書が締結されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>傾聴と共感の姿勢を通じて利用者との信頼関係の構築に努めている。1日を大切にして出来るだけ個別化された支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、片付け等は利用者と共に、職員も同じテーブルと一緒に食べる。2日分の献立を立てて利用者と食材を買いに行く支援も実施している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴したい日、希望する時間に対応できる体制になっている。毎日、入浴の希望を伺いながらスムーズな安全な入浴支援がなされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の利用者の生活歴や力を把握し、お願いできそうな仕事を頼んだり、得意分野の経験や知恵を発揮できる場面の支援を大切にしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に外出できるよう年間計画を作成している。また、気分転換やストレスの発散、五感刺激の機会としても外出を貴重なチャンスとして活用されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	チャイム・センサーに頼ることなく外出する様子を見守りしている。玄関先に施設で犬を飼い日常にお世話をするなど、自由な出入りのなかで支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署・併設施設の協力を得ながら年2回の防災訓練を実施している。</p>		<p>施設独自で災害に備えた備蓄等の準備をしておくよう求めます。</p>
<p>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の一日全体を通じた食事・飲水の摂取状況が毎日チェック表に記録され、職員が情報を共有し、その内容を意識しながら関わられる体制にある。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂は広く利用者個々が自由に居心地よく過ごせる住環境が整備され、文化展に出品した作品を飾りつけなど工夫されている。トイレ、浴室、台所など衛生面に配慮されて清潔感が保たれている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって使い慣れた日用品や馴染みの物が本人や家族と相談されながら個別に応じ使いやすく居心地の良い環境づくりの工夫がされていた。</p>		

 は、重点項目。